

平成 1 7 年 度

高 校 改 革 ア ン ケ ー ト  
調 査 結 果 概 要

山梨県教育庁新しい高校づくり推進室

# 平成17年度高校改革アンケート調査の結果報告

## 調査の概要

### 1 調査の目的

県下の中学生、高校生、保護者及び中学校、高等学校の教員の高校改革等に対する考えや意見を把握し、今後の高校改革推進のための資料を得ることを目的とする。

### 2 調査内容と項目数

項目	調査内容	質問項目
中学卒業後の進路希望及び高校や制度について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学卒業後の進路希望(中学生、その保護者) (1)</li> <li>・ 入学した高校の満足度(高校生、その保護者) (2)</li> <li>・ 現行の高校制度の満足度(保護者、教員) (3)</li> </ul>	3
高校制度(高校改革)について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校進学を希望する(した)者の希望学科 (問1)</li> <li>・ 高校選択の理由 (問2)</li> <li>・ 総合学科 (問3)</li> <li>・ 総合学科の系列 (問4)</li> <li>・ 全日制単位制普通科高校 (問5)</li> <li>・ 専門教育学科の学科の種類 (問6 [1])</li> <li>・ 専門教育学科の学科数 (問6 [2])</li> <li>・ 専門高校 (問7)</li> <li>・ 定時制高校 (問8)</li> <li>・ 中高一貫教育校 (問9)</li> </ul>	10
計		13

### 3 調査対象

6,626人

(1) 中学2年生...	無作為に抽出した中学校(30校)の1学級の生徒全員	(1,024人)
(2) 中学3年生...	"	(1,001人)
(3) 高校1年生...	無作為に抽出した高校(23校)の1学級の生徒全員	(871人)
(4) 保護者 ...	(1)~(3)の生徒の保護者	(2,896人)
(5) 教員 ...	(1)から(2)の中学の全学年クラス担任及び(3)の高校の全学年クラス担任	(834人)

### 4 調査方法

各学校を通じて実施

### 5 調査時期

平成17年9月~10月実施

## 6 回収結果

6,285件

	配付数	回収数	回収率
中学2年生	1,024	997	97.4%
中学3年生	1,001	956	95.5%
中学2年生保護者	1,024	942	92.0%
中学3年生保護者	1,001	880	87.9%
中学校教員	385	364	94.5%
高校1年生	871	864	99.2%
高校1年生保護者	871	838	96.2%
高校教員	449	444	98.9%
合計	6,626	6,285	94.9%

参考 (1) 比率(%)は、各項目ごとに小数点第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合もある。

(2) 各設問を全体の傾向、調査対象者別、地域別、学科別に分析した。

全体の傾向...その設問に回答した全対象者を分析した。

調査対象者別...その設問に回答した調査対象者ごとに分析した。

地域別...中学生、中学保護者、中学教員を在籍する中学校の所在地域ごとに分析した。

学科別...高校生、高校保護者、高校教員を在籍する高校の学科ごとに分析した。

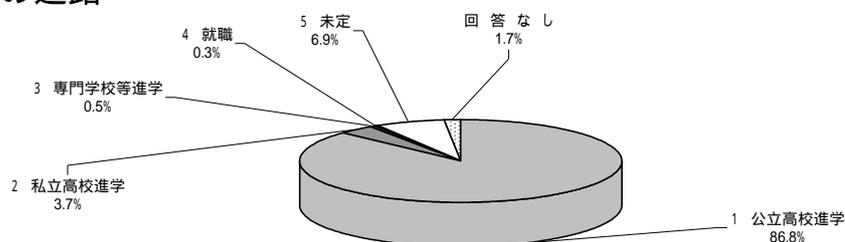
## 調査結果

(1) 中学生とその保護者の方にお聞きします。中学卒業後の進路は決めていますか。  
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 公立高校進学                      2 私立高校進学                      3 高校以外の専門学校等進学  
4 就職                                      5 未定

選択肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 公立高校進学	767	76.9%	854	89.3%	1621	83.0%	851	90.3%	805	91.5%	1656	90.9%	3277	86.8%
2 私立高校進学	31	3.1%	55	5.8%	86	4.4%	8	0.8%	47	5.3%	55	3.0%	141	3.7%
3 専門学校等進学	6	0.6%	10	1.0%	16	0.8%	2	0.2%	2	0.2%	4	0.2%	20	0.5%
4 就職	3	0.3%	5	0.5%	8	0.4%	2	0.2%	2	0.2%	4	0.2%	12	0.3%
5 未定	146	14.6%	21	2.2%	167	8.6%	73	7.7%	20	2.3%	93	5.1%	260	6.9%
回答なし	44	4.4%	11	1.2%	55	2.8%	6	0.6%	4	0.5%	10	0.5%	65	1.7%
計	997		956		1953		942		880		1822		3775	

### 中学卒業後の進路



### 【今回の調査結果】

中学卒業後の進路について中学生とその保護者に尋ねた。

#### 全体の傾向

- ・ 「公立高校進学」と回答した比率が最も高く86.8%、以下、「私立高校進学」3.7%、「専門学校等進学」0.5%、「就職」0.3%の順である。

#### 調査対象者別

- ・ 中学3年生についてみると、同時期に行われた「進路希望調査」とほぼ同じ結果が出ている。

	公立高校進学	私立高校進学	専門学校等進学	就職希望	その他	調査対象者
高校改革アンケート	89.3%( 854人)	5.8%( 55人)	1.0%(10人)	0.5%( 5人)	3.3%(32人)	956人
進路希望調査(9 / 20)	89.7%(8,205人)	8.4%(769人)	0.9%(83人)	0.5%(42人)	0.6%(51人)	9,150人

- ・ 中学2年生についてみると、以下のとおりである。

	公立高校進学	私立高校進学	専門学校等進学	就職希望	その他	計
比率	76.9%(767人)	3.1%(31人)	0.6%(6人)	0.3%(3人)	19.1%(190人)	997人

- ・ 保護者についてみると、生徒とほぼ同じ傾向にあるが、両学年とも中学生より、保護者の方が、公立を希望している比率が高い。

#### 地域別(資料編 p1参照)

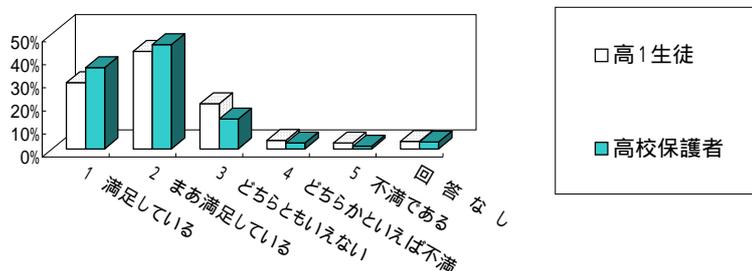
- ・ 中学3年生についてみると、「公立高校進学」と回答した比率が最も高い地域は峡北92.0%、以下、南都留91.2%、峡南90.5%、峡東90.2%、峡中88.0%、北都留86.4%の順である。

(2) 高校生とその保護者の方にお聞きします。進学した高校の学科(コース)について、どの程度満足していますか。(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 満足している                      2 まあ満足している                      3 どちらともいえない  
4 どちらかといえば不満である                      5 不満である

選択肢	高1生徒		高校保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 満足している	248	28.7%	295	35.2%	543	31.9%
2 まあ満足している	365	42.2%	379	45.2%	744	43.7%
3 どちらともいえない	169	19.6%	108	12.9%	277	16.3%
4 どちらかといえば不満	32	3.7%	21	2.5%	53	3.1%
5 不満である	22	2.5%	10	1.2%	32	1.9%
回答なし	28	3.2%	25	3.0%	53	3.1%
計	864		838		1702	

### 入学した高校の満足度



### 【今回の調査結果】

高校1年生とその保護者に、在学している高校に対する満足度を尋ねた。

#### 全体の傾向

- ・ 「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は75.6%であり、一方で、「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した比率は5.0%である。

#### 調査対象者別

- ・ 「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は高校生70.9%、高校保護者80.4%である。「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した比率は高校生6.2%、高校保護者3.7%であり、生徒より保護者の方が満足度が高い。

#### 学科別(資料編 p2参照)

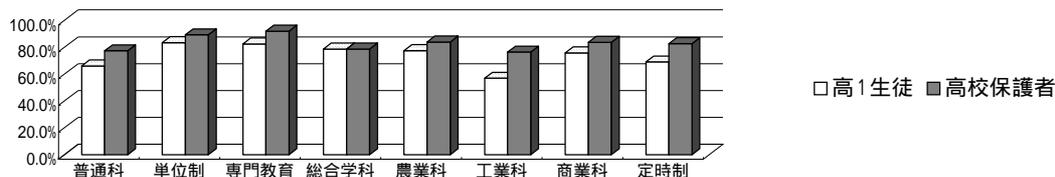
た

それ以外の学科において生徒より保護者が上回った。

- ・ 「満足している」「まあ満足している」と回答した比率を学科別に表すと以下の表とグラフになる。

	普通科	単位制	専門教育	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制
高1生徒	66.0%	83.4%	82.5%	78.7%	77.5%	56.9%	75.8%	69.0%
高校保護者	77.3%	89.2%	92.0%	78.7%	83.9%	76.4%	83.6%	82.7%

#### 入学した高校の満足度(学科別)

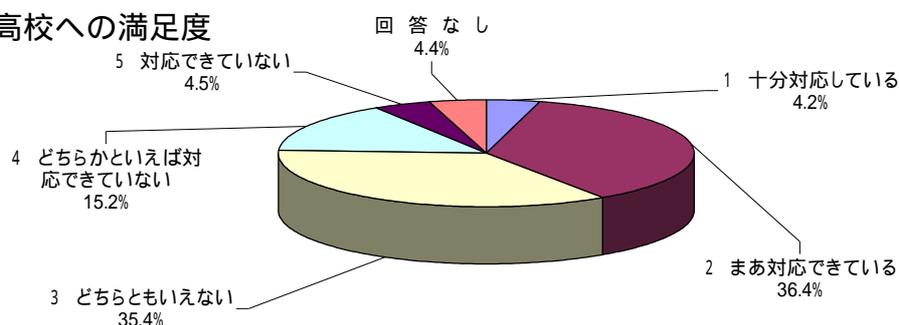


(3) すべての保護者と教員の方にお聞きします。現在の山梨県の高校の種類や数などは、生徒の多様な進路選択ニーズにどの程度対応できていると考えますか。  
(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 十分対応している                      2 まあ対応できている                      3 どちらともいえない  
4 どちらかといえば対応できていない                      5 対応できていない

選択肢	中2保護者		中3保護者		高校保護者		中学教員		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 十分対応している	32	3.4%	29	3.3%	28	3.3%	14	3.8%	43	9.7%	146	4.2%
2 まあ対応できている	263	27.9%	300	34.1%	308	36.8%	182	50.0%	208	46.8%	1261	36.4%
3 どちらともいえない	417	44.3%	308	35.0%	279	33.3%	98	26.9%	124	27.9%	1226	35.4%
4 どちらかといえば対応できていない	148	15.7%	159	18.1%	133	15.9%	47	12.9%	40	9.0%	527	15.2%
5 対応できていない	53	5.6%	54	6.1%	34	4.1%	5	1.4%	11	2.5%	157	4.5%
回答なし	29	3.1%	30	3.4%	56	6.7%	18	4.9%	18	4.1%	151	4.4%
計	942		880		838		364		444		3468	

### 現行の高校への満足度



### 今回の調査結果

中学・高校の保護者及び教員に、現行の高校制度の満足度について尋ねた。

#### 全体の傾向

- ・ 「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率は40.6%である。一方で、「対応できていない」「どちらかといえば対応できていない」と回答した比率は19.7%である。また、「どちらともいえない」と回答した比率は35.4%である。

#### 調査対象者別

- ・ 「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い対象者は高校教員56.5%、以下、中学教員53.8%、高校保護者40.1%、中3保護者37.4%、中2保護者31.3%の順である。

#### 地域別(資料編 p3参照)

- ・ 中学保護者についてみると、「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い地域は南都留38.5%、以下、峡南37.2%、峡中35.8%、峡東33.5%、峡北28.5%、北都留27.6%の順である。
- ・ 同様に中学教員についてみると、峡南78.6%、以下、南都留66.7%、峡北63.9%、峡東57.0%、北都留50.0%、峡中44.4%の順である。

#### 学科別(資料編 p3参照)

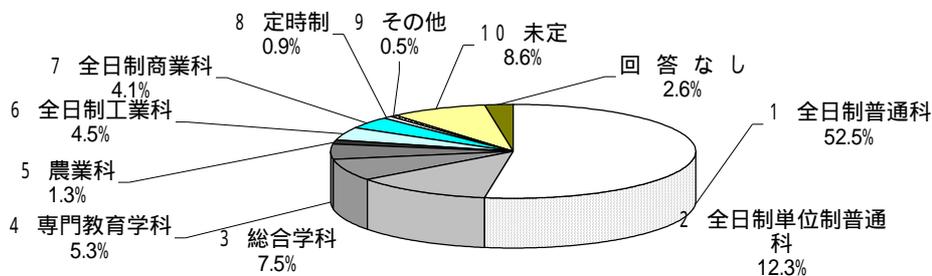
- ・ 高校保護者についてみると、「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い学科は工業科52.7%、以下、総合学科44.0%、単位制普通科45.0%、普通科39.5%、農業科35.5%、定時制34.5%、専門教育学科24.0%の順である。
- ・ 同様に高校教員についてみると、農業科75.0%、以下、普通科63.3%、総合学科58.7%、工業科58.0%、単位制普通科46.2%、定時制45.5%、専門教育学科42.1%の順である。

問1 中学生、高校生とその保護者の方にお聞きします。次のどの学科に進学を希望していますか。(希望しましたか。)(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 全日制普通科(コースを含む)      2 全日制単位制普通科      3 総合学科  
 4 専門教育学科(理数科・英語科等)      5 農業科      6 全日制工業科  
 7 全日制商業科      8 定時制      9 その他( )      10 未定

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		高1生徒		高校保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 全日制普通科	461	46.2%	527	55.1%	531	56.4%	508	57.7%	422	48.8%	424	50.6%	2,873	52.5%
2 全日制単位制普通科	116	11.6%	130	13.6%	86	9.1%	116	13.2%	115	13.3%	111	13.2%	674	12.3%
3 総合学科	50	5.0%	87	9.1%	51	5.4%	74	8.4%	68	7.9%	83	9.9%	413	7.5%
4 専門教育学科	51	5.1%	55	5.8%	48	5.1%	39	4.4%	59	6.8%	37	4.4%	289	5.3%
5 農業科	14	1.4%	8	0.8%	6	0.6%	7	0.8%	17	2.0%	21	2.5%	73	1.3%
6 全日制工業科	30	3.0%	59	6.2%	34	3.6%	41	4.7%	40	4.6%	40	4.8%	244	4.5%
7 全日制商業科	27	2.7%	33	3.5%	22	2.3%	40	4.5%	51	5.9%	52	6.2%	225	4.1%
8 定時制	3	0.3%	3	0.3%	2	0.2%	3	0.3%	20	2.3%	18	2.1%	49	0.9%
9 その他	2	0.2%	8	0.8%	5	0.5%	6	0.7%	2	0.2%	3	0.4%	26	0.5%
10 未定	221	22.2%	31	3.2%	126	13.4%	21	2.4%	51	5.9%	19	2.3%	469	8.6%
回答なし	22	2.2%	15	1.6%	31	3.3%	25	2.8%	19	2.2%	30	3.6%	142	2.6%
計	997		956		942		880		864		838		5,477	

### 希望学科



### 【今回の調査結果】

中学生、高校生とその保護者にどの学科に進学を希望する(希望した)か尋ねた。

#### 全体の傾向

- ・ 「全日制普通科」と回答した比率は52.5%であり、「単位制普通科」「専門教育学科」を合わせると70.1%で全体の7割が普通科系の学科を希望している。

#### 調査対象者別

- ・ 「全日制普通科」と回答した比率は、中2生徒46.2%、中3生徒55.1%、中2保護者56.4%、中3保護者57.7%、高1生徒48.8%、高校保護者50.6%であり、保護者の普通科の希望率は生徒の希望率より高い。

#### 地域別(資料編 p4参照)

- ・ 中学生についてみると、「全日制普通科」と回答した比率が最も高い地域は南都留54.4%、次いで峡南54.1%である。また、「単位制普通科」と回答した比率が最も高い地域は峡東26.7%、次いで北都留の17.9%である。

#### 学科別(資料編 p5参照)

- ・ 実際に進学した学科が希望した学科であった場合の比率をみると、平成17年度入試においては、高校生とその保護者の希望する学科へ約8割が進学している。

#### 希望した学科と在籍している学科の一致する割合

	普通科	単位制	専門教育	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	全体
高1生徒	87.3%	83.3%	97.5%	82.7%	54.8%	60.3%	68.6%	69.0%	81.7%
高校保護者	86.0%	77.5%	72.0%	88.0%	67.7%	67.3%	74.6%	62.1%	80.9%



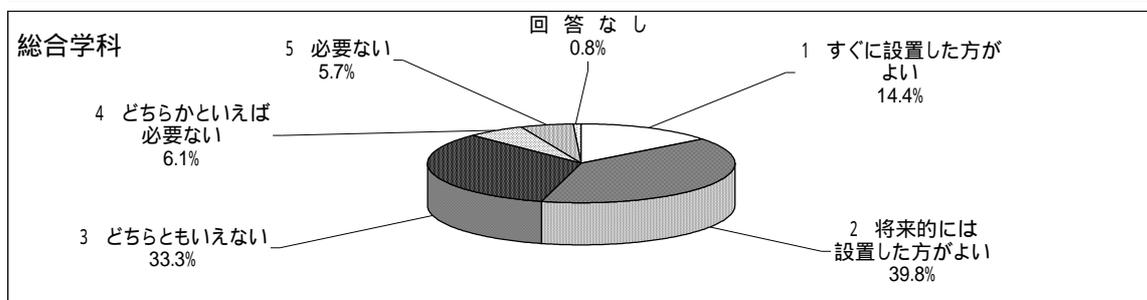
【総合学科】

問3 本県には、普通科目(国語、数学、英語など)から専門科目(農業、工業、情報ビジネス、福祉など)まで、幅広い科目の中から自ら選択して学ぶことのできる「総合学科高校」として甲府城西高校、北杜高校及び富士北稜高校があります。

今後も、総合学科高校は、県内に順次設置していくこととしています。現在、未設置となっている峡東・峡西南ブロックに総合学科高校を設置することについて、どう考えますか。  
(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい                      2 将来的には設置した方がよい                      3 どちらともいえない  
4 どちらかといえば必要ない                      5 必要ない

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	131	13.1%	133	13.9%	227	24.1%	152	17.3%	34	9.3%	81	9.4%	125	14.9%	25	5.6%	908	14.4%
2 将来的には設置した方がよい	334	33.5%	374	39.1%	418	44.4%	416	47.3%	165	45.3%	321	37.2%	366	43.7%	107	24.1%	2,501	39.8%
3 どちらともいえない	435	43.6%	380	39.7%	227	24.1%	249	28.3%	98	26.9%	362	41.9%	224	26.7%	115	25.9%	2,090	33.3%
4 どちらかといえば必要ない	33	3.3%	22	2.3%	42	4.5%	30	3.4%	41	11.3%	43	5.0%	63	7.5%	108	24.3%	382	6.1%
5 必要ない	56	5.6%	33	3.5%	23	2.4%	27	3.1%	20	5.5%	55	6.4%	55	6.6%	87	19.6%	356	5.7%
回答なし	8	0.8%	14	1.5%	5	0.5%	6	0.7%	6	1.6%	2	0.2%	5	0.6%	2	0.5%	48	0.8%
計	997		956		942		880		364		864		838		444		6,285	



【今回の調査結果】

今後、未設置地域に順次設置していくこととしている総合学科高校の必要性について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は54.2%であり、一方で、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率は11.8%である。また、「どちらともいえない」と回答した比率は33.3%である。

調査対象者別

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、中2生徒46.6%、中3生徒53.0%、中2保護者68.5%、中3保護者64.6%、高1生徒46.6%、高校保護者58.6%であり、生徒より保護者の方が高い。

地域別(資料編 p8参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は、峡中53.5%、以下、峡南及び峡北の49.3%、峡東49.1%、北都留46.3%、南都留42.2%の順である。
- ・ 同様に中学保護者についてみると、峡北70.1%、以下、南都留70.0%、峡東66.8%、峡中66.7%、北都留64.9%、峡南56.4%の順である。
- ・ 同様に中学教員についてみると、峡北69.5%、以下、峡中60.7%、南都留50.9%、北都留46.9%、峡東43.1%、峡南35.7%の順である。

学科別(資料編 p8～9参照)

- ・ 「総合学科」に在籍する高校生とその保護者でみると「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、共に他学科よりも高く、高校保護者で88.0%、次に高校生57.4%である。

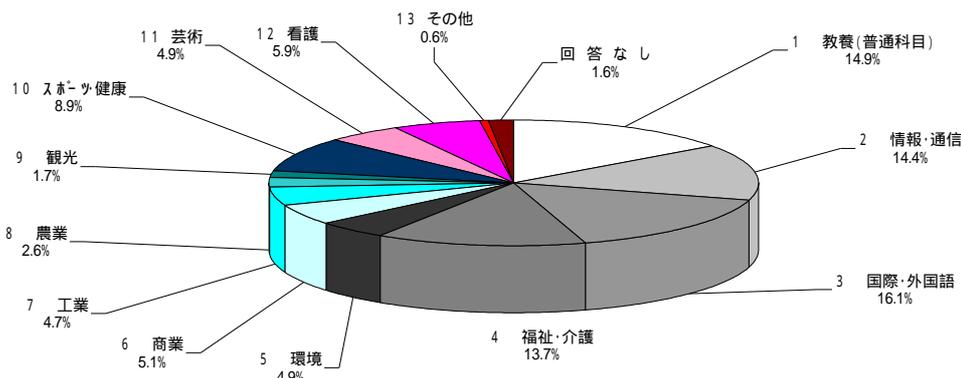
【総合学科の系列】

問4 総合学科高校では、いろいろな科目を用意して、その中から将来の進路などに合わせて科目を選択し、各自の時間割を作成して学習していきます。その時、どんな分野に属する科目があればよいと考えますか。（つぎの中から3つ選んで下さい。）

- |            |            |          |         |
|------------|------------|----------|---------|
| 1 教養(普通科目) | 2 情報・通信    | 3 国際・外国語 | 4 福祉・介護 |
| 5 環境       | 6 商業       | 7 工業     | 8 農業    |
| 9 観光       | 10 スポーツ・健康 | 11 芸術    | 12 看護   |
| 13 その他( )  |            |          |         |

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 教養(普通科目)	538	18.0%	398	13.9%	426	15.1%	385	14.6%	137	12.5%	381	14.7%	354	14.1%	198	14.9%	2817	14.9%
2 情報・通信	301	10.1%	324	11.3%	492	17.4%	435	16.5%	176	16.1%	354	13.7%	440	17.5%	187	14.0%	2709	14.4%
3 国際・外国語	427	14.3%	440	15.3%	517	18.3%	477	18.1%	155	14.2%	473	18.2%	423	16.8%	118	8.9%	3030	16.1%
4 福祉・介護	198	6.6%	310	10.8%	473	16.7%	448	17.0%	220	20.1%	286	11.0%	438	17.4%	205	15.4%	2578	13.7%
5 環境	148	4.9%	141	4.9%	122	4.3%	134	5.1%	61	5.6%	122	4.7%	123	4.9%	74	5.6%	925	4.9%
6 商業	187	6.3%	204	7.1%	86	3.0%	105	4.0%	47	4.3%	159	6.1%	106	4.2%	74	5.6%	968	5.1%
7 工業	169	5.7%	166	5.8%	92	3.3%	75	2.8%	51	4.7%	146	5.6%	91	3.6%	99	7.4%	889	4.7%
8 農業	90	3.0%	68	2.4%	40	1.4%	47	1.8%	38	3.5%	70	2.7%	68	2.7%	78	5.9%	499	2.6%
9 観光	66	2.2%	72	2.5%	35	1.2%	30	1.1%	20	1.8%	54	2.1%	24	1.0%	23	1.7%	324	1.7%
10 スポーツ・健康	476	15.9%	355	12.4%	179	6.3%	161	6.1%	67	6.1%	213	8.2%	120	4.8%	99	7.4%	1670	8.9%
11 芸術	169	5.7%	135	4.7%	139	4.9%	117	4.4%	48	4.4%	135	5.2%	121	4.8%	56	4.2%	920	4.9%
12 看護	160	5.3%	197	6.9%	165	5.8%	160	6.1%	49	4.5%	174	6.7%	148	5.9%	63	4.7%	1116	5.9%
13 その他	25	0.8%	20	0.7%	13	0.5%	14	0.5%	6	0.5%	15	0.6%	7	0.3%	11	0.8%	111	0.6%
回答なし	37	1.2%	38	1.3%	47	1.7%	52	2.0%	17	1.6%	10	0.4%	51	2.0%	47	3.5%	299	1.6%
計	2991		2868		2826		2640		1092		2592		2514		1332		18,855	

総合学科の系列



【今回の調査結果】

総合学科に設置を希望する科目群について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 国際・外国語」16.1%、 教養(普通科目)」14.9%、 情報・通信」14.4%、 福祉・介護」13.7%の順である。

調査対象者別(資料編 p10～13参照)

- ・ 中学生についてみると、 教養(普通科目)」16.0%、 国際・外国語」14.8%、 「スポーツ・健康」14.2%の順である。
- ・ 中学保護者についてみると、 国際・外国語」18.2%、 情報・通信」17.0%、 福祉・介護」16.8%の順である。
- ・ 中学教員についてみると、 福祉・介護」20.1%、 情報・通信」16.1%、 国際・外国語」14.2%の順である。
- ・ 高校教員についてみると、 福祉・介護」15.4%、 教養(普通科目)」14.9%、 情報・通信」14.0%の順である。

地域別(資料編 p10～12参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様に地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p12～13)

【全日制単位制普通科高校】

問5 県立高校のうち、1学年・2学年などの学年の区分がなく、自分に適した教科・科目を選択、学習し、決められた単位数を修得すれば卒業が認められる「全日制単位制普通科高校」として、甲府西高校、日川高校、都留高校の3校があります。

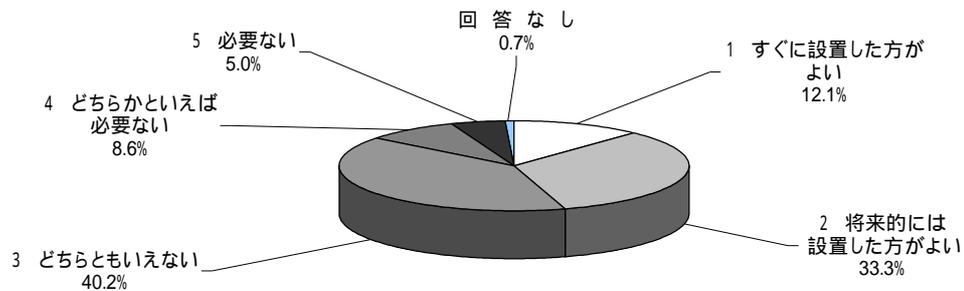
今後も全日制単位制普通科高校を設置していくことについて、どう考えますか。

(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい      2 将来的には設置した方がよい      3 どちらともいえない  
4 どちらかといえば必要ない      5 必要ない

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	141	14.1%	141	14.7%	160	17.0%	99	11.3%	28	7.7%	85	9.8%	86	10.3%	19	4.3%	759	12.1%
2 将来的には設置した方がよい	293	29.4%	314	32.8%	338	35.9%	320	36.4%	139	38.2%	289	33.4%	298	35.6%	101	22.7%	2092	33.3%
3 どちらともいえない	447	44.8%	396	41.4%	336	35.7%	356	40.5%	126	34.6%	388	44.9%	333	39.7%	147	33.1%	2529	40.2%
4 どちらかといえば必要ない	59	5.9%	56	5.9%	72	7.6%	67	7.6%	48	13.2%	60	6.9%	75	8.9%	104	23.4%	541	8.6%
5 必要ない	50	5.0%	38	4.0%	31	3.3%	29	3.3%	17	4.7%	40	4.6%	41	4.9%	71	16.0%	317	5.0%
回答なし	7	0.7%	11	1.2%	5	0.5%	9	1.0%	6	1.6%	2	0.2%	5	0.6%	2	0.5%	47	0.7%
計	997		956		942		880		364		864		838		444		6285	

全日制単位制普通科高校



【今回の調査結果】

全日制単位制普通科高校の設置の必要性について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は45.4%であり、一方で、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率は13.6%である。また、「どちらともいえない」と回答した比率は40.2%である。

調査対象者別

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、中2生徒43.5%、中3生徒47.5%、中2保護者52.9%、中3保護者47.7%、高1生徒43.2%、高校保護者45.9%であり、中学生・高校生より保護者の方が高い。

地域別(資料編 p14参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は峡東49.4%、以下、峡中48.2%、南都留46.3%、峡北39.9%、峡南39.8%、北都留36.9%の順である。
- ・ 同様に中学保護者についてみると、峡北54.4%、以下、峡東51.9%、峡中50.9%、北都留48.7%、南都留47.7%、峡南45.0%の順である。
- ・ 同様に中学教員についてみると、峡東50.8%、以下、峡南50.0%、峡中48.2%、峡北44.4%、南都留42.2%、北都留31.3%の順である。

学科別(資料編 p14～15参照)

- ・ 「全日制単位制普通科」に在籍する高校生とその保護者についてみると、「すぐに設置した方がよい」

【専門教育学科】(学科の種類)

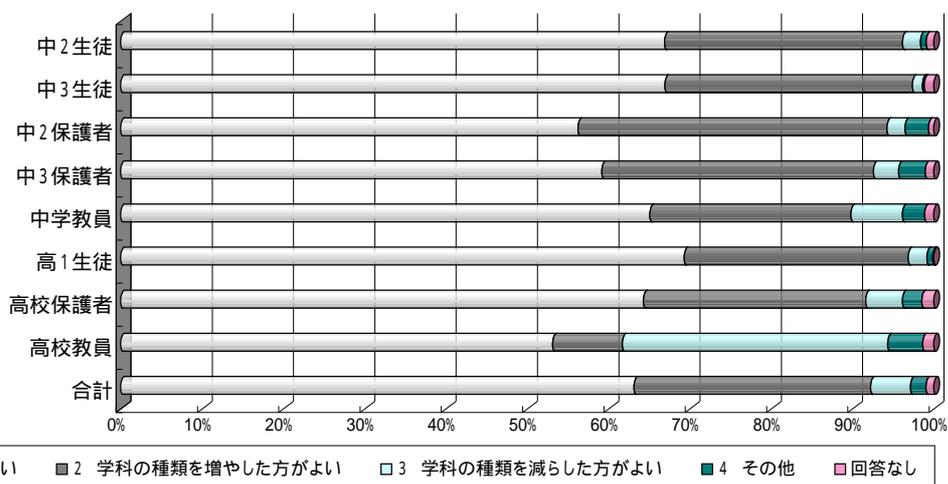
問6 本県の県立高校には、現在、専門教育学科として、理数科、英語科、文理科、国際教養科を設置しているところがあります。この学科についてどう考えますか。

(1) 学科の種類について (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 学科の種類を増やした方がよい
- 3 学科の種類を減らした方がよい
- 4 その他 ( )

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	667	66.9%	640	66.9%	530	56.3%	521	59.2%	237	65.1%	599	69.3%	539	64.3%	236	53.2%	3969	63.2%
2 学科の種類を増やした方がよい	292	29.3%	291	30.4%	358	38.0%	294	33.4%	90	24.7%	238	27.5%	229	27.3%	38	8.6%	1830	29.1%
3 学科の種類を減らした方がよい	22	2.2%	12	1.3%	21	2.2%	27	3.1%	23	6.3%	20	2.3%	38	4.5%	145	32.7%	308	4.9%
4 その他	7	0.7%	2	0.2%	27	2.9%	29	3.3%	10	2.7%	6	0.7%	20	2.4%	19	4.3%	120	1.9%
回答なし	9	0.9%	11	1.2%	6	0.6%	9	1.0%	4	1.1%	1	0.1%	12	1.4%	6	1.4%	58	0.9%
計	997		956		942		880		364		864		838		444		6285	

学科の種類



【今回の調査結果】

専門教育学科の種類について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く63.2%、次いで「学科の種類を増やした方がよい」29.1%である。

調査対象者別

- ・ 高校教員についてみると、「現状のままでよい」と回答した比率が5割を超えるが、一方で「学科の種類を減らした方がよい」と回答した比率が32.7%と他の対象者と比べ高い。

地域別(資料編 p16参照)

- ・ 全体の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p16～17)

【専門教育学科】(学科数)

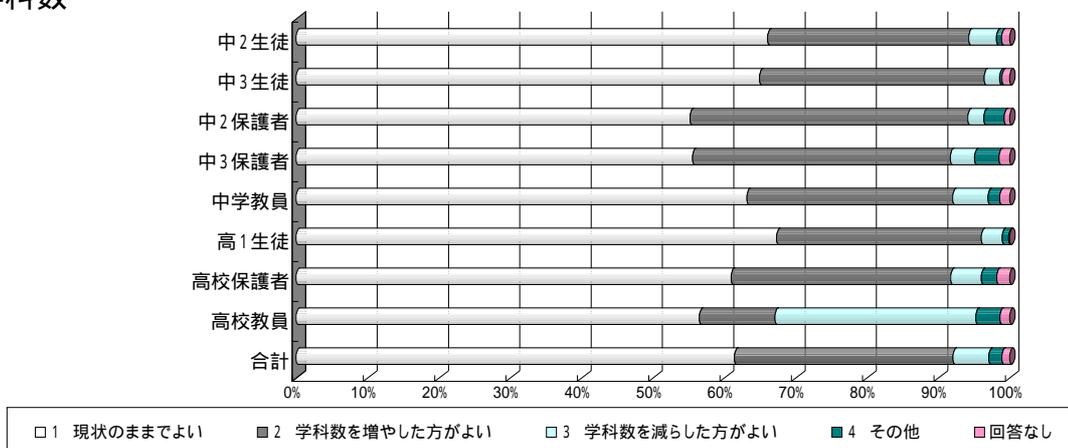
問6 本県の県立高校には、現在、専門教育学科として、理数科、英語科、文理科、国際教養科を設置しているところがあります。この学科についてどう考えますか。

(2) 学科数について (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 学科数を増やした方がよい
- 3 学科数を減らした方がよい
- 4 その他( )

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	659	66.1%	621	65.0%	520	55.2%	489	55.6%	230	63.2%	582	67.4%	511	61.0%	251	56.5%	3863	61.5%
2 学科数を増やした方がよい	281	28.2%	301	31.5%	367	39.0%	318	36.1%	105	28.8%	248	28.7%	258	30.8%	47	10.6%	1925	30.6%
3 学科数を減らした方がよい	39	3.9%	21	2.2%	21	2.2%	30	3.4%	18	4.9%	25	2.9%	36	4.3%	125	28.2%	315	5.0%
4 その他	7	0.7%	3	0.3%	27	2.9%	30	3.4%	6	1.6%	8	0.9%	18	2.1%	15	3.4%	114	1.8%
回答なし	11	1.1%	10	1.0%	7	0.7%	13	1.5%	5	1.4%	1	0.1%	15	1.8%	6	1.4%	68	1.1%
計	997		956		942		880		364		864		838		444		6285	

学科数



【今回の調査結果】

専門教育学科の学科数について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く61.5%、次いで「学科数を増やした方がよい」30.6%である。

調査対象者別(資料編 p18～19参照)

- ・ 高校教員についてみると、「学科数を減らした方がよい」と回答した比率が他の対象者と比べて高く28.2%である。

地域別(資料編 p18参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様に地域別の大きな差異は見られない。

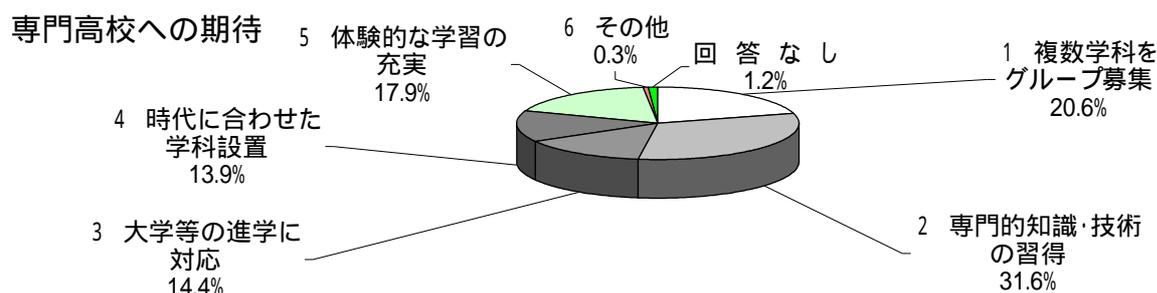
学科別(資料編 p18～19)

【専門高校】

問7 農業高校、工業高校、商業高校などの専門高校の教育に、どのようなことを期待しますか。  
(つぎの中から2つ選んでください。)

- 1 1年入学の段階で学科に分けず、共通に基礎的科目を勉強した後に、学科を選べるようにする
- 2 資格取得に必要な学習を行うなど、専門的な知識や技術を身につけた職業人を育成する
- 3 高校で学んだ知識や技術をさらに深めるため、大学等の進学に対応できる国語・数学や英語の教育を充実する
- 4 社会の変化に合わせ、設置学科を時代に合ったものに変える
- 5 実験や実習、企業での研修など、体験的な学習を充実する
- 6 その他( )

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 複数学科をグループ募集	416	20.9%	378	19.8%	421	22.3%	377	21.4%	165	22.7%	338	19.6%	352	21.0%	145	16.3%	2592	20.6%
2 専門的知識・技術の習得	570	28.6%	631	33.0%	570	30.3%	525	29.8%	249	34.2%	599	34.7%	499	29.8%	326	36.7%	3969	31.6%
3 大学等の進学に対応	320	16.0%	243	12.7%	302	16.0%	302	17.2%	76	10.4%	227	13.1%	253	15.1%	83	9.3%	1806	14.4%
4 時代に合わせた学科設置	211	10.6%	247	12.9%	290	15.4%	283	16.1%	77	10.6%	226	13.1%	283	16.9%	133	15.0%	1750	13.9%
5 体験的な学習の充実	436	21.9%	380	19.9%	272	14.4%	249	14.1%	145	19.9%	325	18.8%	259	15.5%	190	21.4%	2256	17.9%
6 その他	16	0.8%	4	0.2%	6	0.3%	3	0.2%	2	0.3%	4	0.2%	3	0.2%	2	0.2%	40	0.3%
回答なし	25	1.3%	29	1.5%	23	1.2%	21	1.2%	14	1.9%	9	0.5%	27	1.6%	9	1.0%	157	1.2%
計	1994		1912		1884		1760		728		1728		1676		888		12570	



【今回の調査結果】

農業高校、工業高校、商業高校などの専門高校に何を期待しているかを尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「専門的知識・技術の習得」と回答した比率が最も高く31.6%、以下、「複数学科をグループ募集」20.6%、「体験的な学習の充実」17.9%、「大学等の進学に対応」14.4%、「時代に合わせた学科設置」13.9%の順である。

調査対象者別

- ・ 保護者についてみると、「専門的知識・技術の習得」に次いで、「複数学科をグループ募集」と回答した比率が高く、中学保護者21.9%、高校保護者21.0%である。
- ・ 中学生と高校教員についてみると、「専門的知識・技術の習得」に次いで、「体験的な学習の充実」と回答した比率が高く、中学生20.9%、高校教員21.4%である。

地域別(資料編 p20参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p20～21)

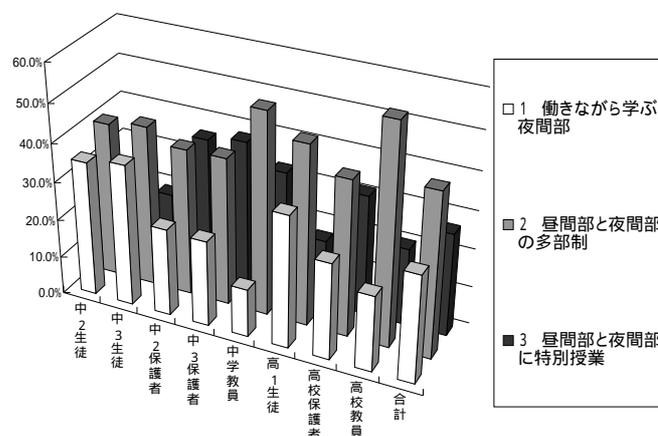
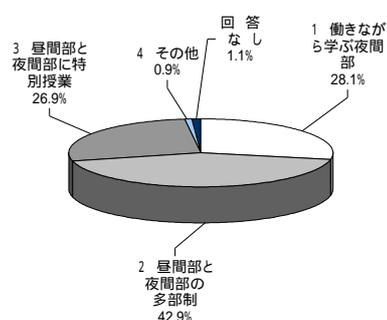
**【定時制高校】**

問8 中学卒業で就職する生徒が減少し、現在の定時制高校は、「働きながら学ぶ人のための学校」という役割だけではなく、さまざまな学習歴を持つ生徒の学習の場としての役割も持つようになってきています。あなたは、定時制高校の今後についてどう考えますか。  
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状どおり、働きながら学ぶ人のため、夜間部を主に考える方がよい
- 2 多様な生徒が学習できるよう昼間部と夜間部をあわせ持つ多部制がよい
- 3 多様な生徒が学習できるよう昼間部と夜間部にさらに特別授業をあわせ持つ多部制がよい
- 4 その他( )

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 働きながら学ぶ夜間部	352	35.3%	354	37.0%	216	22.9%	198	22.5%	46	12.6%	299	34.6%	212	25.3%	88	19.8%	1765	28.1%
2 昼間部と夜間部の多部制	403	40.4%	401	41.9%	362	38.4%	340	38.6%	192	52.7%	406	47.0%	341	40.7%	254	57.2%	2699	42.9%
3 昼間部と夜間部に特別授業	218	21.9%	182	19.0%	341	36.2%	334	38.0%	118	32.4%	146	16.9%	263	31.4%	90	20.3%	1692	26.9%
4 その他	15	1.5%	7	0.7%	10	1.1%	1	0.1%	2	0.5%	8	0.9%	8	1.0%	8	1.8%	59	0.9%
回答なし	9	0.9%	12	1.3%	13	1.4%	7	0.8%	6	1.6%	5	0.6%	14	1.7%	4	0.9%	70	1.1%
計	997		956		942		880		364		864		838		444		6285	

**定時制高校**



**【今回の調査結果】**

定時制の今後について尋ねた。

**全体の傾向**

- ・ 「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が最も高く42.9%、以下、「働きながら学ぶ夜間部」28.1%、「昼間部と夜間部に特別授業」26.9%の順である。

**調査対象者別**

- ・ 中学生及び高校生は、全体の傾向と一致するが、保護者及び教員は、「昼間部と夜間部の多部制」に次いで「昼間部と夜間部に特別授業」と回答した比率が高く、中2保護者36.2%、中3保護者38.0%、高校保護者31.4%、中学教員32.4%、高校教員20.3%である。

**地域別(資料編 p22参照)**

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

**学科別(資料編 p22～23参照)**

- ・ 「定時制」の高校生についてみると、「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が41.4%、「昼間部と夜間部に特別授業」31.0%、「働きながら学ぶ夜間部」27.6%である。
- ・ 「定時制」の保護者についてみると、「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が48.3%、「昼間部と夜間部に特別授業」が44.8%である。

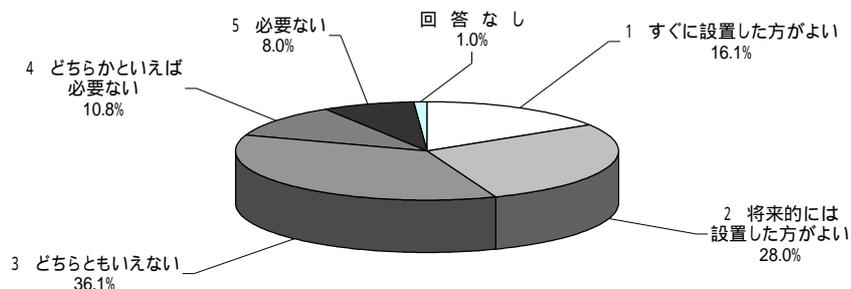
【中高一貫教育校】

問9 中学から高校までの6年間のいわゆる中高一貫教育は「入学に際しては学力検査は行わずゆとりある教育の中で個性や創造性を伸ばす」などを目的としていますが、このような中高一貫教育校を設置することについて、どう考えますか。  
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい      2 将来的には設置した方がよい      3 どちらともいえない  
4 どちらかといえば必要ない      5 必要ない

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	238	23.9%	227	23.7%	171	18.2%	130	14.8%	30	8.2%	91	10.5%	88	10.5%	34	7.7%	1009	16.1%
2 将来的には設置した方がよい	252	25.3%	243	25.4%	302	32.1%	302	34.3%	99	27.2%	180	20.8%	249	29.7%	132	29.7%	1759	28.0%
3 どちらともいえない	381	38.2%	313	32.7%	331	35.1%	302	34.3%	127	34.9%	365	42.2%	329	39.3%	122	27.5%	2270	36.1%
4 どちらかといえば必要ない	59	5.9%	86	9.0%	81	8.6%	90	10.2%	71	19.5%	117	13.5%	100	11.9%	77	17.3%	681	10.8%
5 必要ない	57	5.7%	76	7.9%	45	4.8%	50	5.7%	33	9.1%	105	12.2%	60	7.2%	75	16.9%	501	8.0%
回答なし	10	1.0%	11	1.2%	12	1.3%	6	0.7%	4	1.1%	6	0.7%	12	1.4%	4	0.9%	65	1.0%
計	997		956		942		880		364		864		838		444		6285	

中高一貫教育校



【今回の調査結果】

中高一貫教育校の設置の必要性について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は44.1%、一方で、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率は18.8%となり、「どちらともいえない」と回答した比率は36.1%である。

調査対象者別(資料編 p24～25参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は49.1%とほぼ過半数を占めている。
- ・ 同様に中学保護者についてみると、49.7%であり対象者の中で最も高い比率を示している。
- ・ 高校教員についてみると、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率が調査対象者の中で一番多く、34.2%である。

地域別(資料編 p24参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は北都留53.7%、以下、南都留52.2%、峡東52.2%、峡中47.8%、峡北45.8%、峡南43.1%の順である。
- ・ 同様に中学保護者についてみると、峡北56.9%、以下、峡東51.5%、北都留51.4%、峡中48.8%、南都留46.5%、峡南42.9%の順である。
- ・ 中学教員では、峡北58.3%、以下、南都留38.6%、北都留37.6%、峡東35.4%、峡中30.0%、峡南21.4%の順である。

学科別(資料編 p24～25)